



ファン・バー・カラオケ

通常上映

アジアフォーカス・福岡国際映画祭協賛

タイ映画特集

90年代から現代までのタイ映画の特集

特別企画

怪談映画の夜

夏の怪談映画特集



牡丹燈籠 ©KADOKAWA1968

通常上映

アニメーション特集

大人と子供で楽しめるアニメーション映画の上映



白蛇伝



龍の子太郎

特別
企画

怪談映画の夜

夏の怪談映画特集

会期:8月9日(水)~8月10日(木)

観覧料:600円(大人) 500円(大学生・高校生) 400円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※障がい者の方及び福岡市在住の65歳以上の方は300円。(手帳や保険証などの提示が必要です)

※「わの会」会員は300円。(会員証の提示が必要です)

9(水) 14:00 / 9(水) 19:00 / 10(木) 16:30

東海道四谷怪談

浪人の伊右衛門は、旗本への養子縁組と士官の道が見えてきたことで昔から恋仲のお岩の存在が邪魔になる。伊右衛門は毒を飲ませてお岩を殺すのだが、お岩の幽霊が現れるようになる。鶴屋南北の歌舞伎「東海道四谷怪談」の映画化。怪談映画の巨匠といわれた中川信夫監督による本作は、斬新な映像美学により怪談映画の傑作となった。



監督:中川信夫
出演:天知茂 若杉嘉津子
1959年/35ミリ/カラー/77分
新東宝

9(水) 16:30 / 10(木) 14:00 / 10(木) 19:00

牡丹燈籠

吉原の遊女・お露は武士の娘でありながら吉原に売られた不幸な身の上だった。それを知った旗本の新三郎は同情し盆の間だけの契りを結ぶ。ところがお露は自害しており、新三郎が会ったのは幽霊だったのだ。三遊亭圓朝の落語「牡丹燈籠」を元にした作品。幽霊との究極の愛を特殊効果を用いた恐怖の映像で描きだす。巨匠・山本薩夫監督の怪談映画の秀作。



監督:山本薩夫
出演:本郷次郎 赤座美代子
1968年/デジタル/カラー/88分
大映

通常
上映

アジアフォーカス・福岡国際映画祭協賛

タイ映画特集

90年代から現代までのタイ映画の特集

会期:8月16日(水)~8月27日(日) ※休館日・休映日除く

観覧料:500円(大人) 400円(大学生・高校生)
300円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は250円。

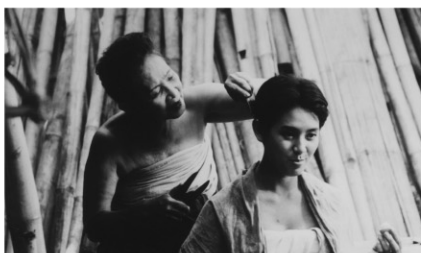
(手帳や保険証などの提示が必要です。)

※「わの会」会員の方は250円。(会員証の提示が必要です。)

16(水) 11:00 / 27(日) 14:00

ムアンとリット Muen and Rid

僧侶のリットは川で溺れかけていた娘ムアンを助ける。リットに恋をしたムアンは、彼に会いたい一心で文字を習い始める。しかしリットは僧侶であり結婚は許されない。父親により金持ちのプーと結婚させられるムアンだが、家を逃げ出しリットに助けを求める。19世紀のタイが舞台で、物語は史実に基づいている。リットと結婚したいというムアンの訴えは4年に渡って続き、その願いはついに国王ラーマ四世に聞き届けられた。当時のタイでは女性は人間扱いされておらず、まさに画期的な出来事であり、ムアンは女性の権利のために闘ったタイで最初の女性とされている。アイドル女優チンタラー・スッカパットの迫真の演技も素晴らしい。



監督:チャート・ソンスイー
出演:チンタラー・スッカパット
サンティスック・プロムシリ
1994年/35ミリ/カラー/120分/タイ/日本語・英語字幕付き



16(水) 14:00 / 27(日) 11:00

ファン・バー・カラオケ

Fun, Bar, Karaoke

社会に適応できない女性のプーはマフィアの手下ヨーイと知り合う。プーの父親はホステスのヨクと知り合うが、ヨクはマフィアの愛人で、父親はヨクから手を引くように脅される。現代的なバンコクの裏側を舞台とした作品。監督はニューヨークで映画作りを学んでおり、本作によりタイ映画のニューウェーブとして注目された。



監督:ベンエーク・ラタナルアン
出演:パイブーンキャット・キアオケオ
フェイ・アッサウエート
1996年/35ミリ/カラー/102分/タイ
日本語・英語字幕付き

18(金) 11:00 / 26(土) 14:00

メコン・フルムーン・パーティ

Mekhong Full Moon Party

タイ東北部、ラオスとの国境を流れるメコン河から秋の満月の夜、無数の火の玉が空に上っていく。この不思議な現象を見るため観光客は訪れ、その原因を巡って議論が交わされる。この映画の不思議な現象はタイで実際に起きており、それを巡るドタバタ騒動がコメディタッチで描かれている。タイでも大ヒットした娯楽作品。



監督:チラ・マリクン
出演:アナチット・サバーンボン
ノッパドン・ドゥアンボン
2002年/35ミリ/カラー/119分/タイ
日本語・英語字幕付き

19(土) 14:00 / 24(木) 11:00

10月のソナタ October Sonata

民主化運動が高まる1970年のタイ。偶然出会ったラウィーとセーンジャンは、2年後同じホテルで会う約束をして別れる。そして2年後セーンジャンは約束のホテルに来るがラウィーは現れない。70年代という時代を背景にした一種のすれ違いメロドラマ。70年から84年のタイの政治状況を上手く盛り込んでいる。



監督:ソムキアット・ウィットウラニット
出演:ラチャウィン・ウォンウィリヤ
タナワット・ワッタナプティ
2009年/35ミリ/カラー/114分/タイ
日本語・英語字幕付き

通常
上映

アニメーション特集

親子で楽しめるアニメーション映画の上映

会期:8月11日(金・祝)~8月13日(日)

観覧料:500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は250円。(手帳や保険証などの提示が必要です)

※「わの会」会員は250円。(会員証の提示が必要です)

※幼児は無料ですが保護者の同伴が必要です。

11(金・祝) 14:00/13(日) 11:00

おとぎの世界旅行

ソーラン老人とオケサ青年は蒸気自動車ヨサコイ号に乗って世界各地でマンガ映画上映の旅に出る。アフリカ、ヨーロッパ、中国、日本そしてアメリカと上映会の旅は続く。漫画家・横山隆一による「おとぎプロ」の劇場公開作第3弾。挿入される短編作品は、鉄道模型を使った立体アニメ、浮世絵風のアニメなどバラエティに富んでいる。



監督:横山隆一
声の出演:木下秀雄 辻村直人
1962年/35ミリ/カラー/76分
おとぎプロ

11(金・祝) 11:00/12(土) 14:00

白蛇伝

美しい娘バイニャンと若者シューセンは恋をする。高僧・法海はバイニャンが蛇の化身であることを知り二人の仲を裂こうとする。東映動画の記念すべき長編映画第一作であり、日本初の長編カラーアニメーション。すべて声を森繁久彌と宮城まり子の二人でこなしており、国内で成功しただけでなく海外にも配給された。



監督:飯下泰司
声の出演:森繁久彌 宮城まり子
1958年/35ミリ/カラー/79分
東映動画

12(土) 11:00/13(日) 14:00

龍の子太郎

大飯食いの太郎は天狗と相撲をして勝ち、百人力の力をもらう。太郎は、おばあさんから太郎を出産した後龍に変わった母親の話を聞く。そして太郎は母親探しの旅にでる。物語は信州に古くから伝わる民話を題材としたもの。「キューポラのある街」で知られる浦山桐郎監督初のアニメーション作品。母親の声を吉永小百合が担当している。



監督:浦山桐郎
声の出演:加藤淳也 吉永小百合
1979年/35ミリ/カラー/75分
東映動画

17(木) 11:00/25(金) 11:00

運命からの逃走 Who is Running?

ジャップとワーンは結婚を予定していた。ところがワーンは交通事故で危篤状態となる。そしてジャップの前に謎の僧侶が現れ、5人の命を救えばワーンは助かると告げ、未来の死亡事故が乗った新聞を手渡す。特撮技術を駆使した娯楽作品で、タイで大ヒットし日本でも公開された。輪廻転生という仏教的な考えを元としている点がタイらしい。



監督:オキサイド・バン
出演:サンヤー・クンナゴーン
ナッターリガー・タンマブリダーナン
1997年/35ミリ/カラー/105分/タイ
日本語・英語字幕付き

17(木) 14:00/25(金) 14:00

ムーンハンター The Moonhunter

1973年のバンコク。民主化運動を推進するタマサート大学の学生セークサンは、身の危険を感じジャングルに身を隠す。タイ共産党のキャンプに隠れたセークサンだが、彼は友人たちを集め党の指導者に反対するのだった。映画の主人公セークサン・プラストクンは作家として活躍する実在の人物。タイの民主化運動や共産党の活動などこれまで知られていなかった部分を描き出した社会派の力作。



監督:バンディット・リッタコン
出演:パーヌ・スワンノー
ピンバン・チャンタ
2001年/35ミリ/カラー/122分/タイ
日本語・英語字幕付き

18(金) 14:00/26(土) 11:00

ワン・ナイト・ハズバンド

One Night Husband

シパンはナバットと結婚するが、結婚式の夜、不審な女性からの電話の後ナバットは姿を消してしまう。ナバットの行方を探すうち、シパンは彼女の知らないナバットの一面を知っていく。二人の女性と一人の男性の愛憎渦巻く作品で、心理描写に重点をおいた本作はタイ映画のニューウェーブとして評価された。



監督:ビムバカー・トーウイラ
出演:ニコル・テリオ
シリヤゴーン・ブッカウエート
2003年/35ミリ/カラー/118分/タイ
日本語・英語字幕付き

19(土) 11:00/24(木) 14:00

早春譜 Seasons Change

ポムは憧れの女性ダーオが音楽学校へ行くことを知り、得意のドラムで音楽学校に合格する。学校には親戚の女性オームがいた。オームとはすぐに親しくなるのだが、ダーオとの距離は一向に縮まらない。高校生 of 微妙な三角関係をビバルディの名曲「四季」に乗せて描いた青春映画。コミカルで切ない青春の一コマが描かれタイで大ヒットしている。



監督:ニティワット・タラートーン
出演:ウィタワット・シンラムボーン
チュティマー・ティーナパート
2006年/35ミリ/カラー/117分/タイ
日本語・英語字幕付き

20(日) 11:00/23(水) 11:00

ありふれた話 Mundane History

エークは事故のため下半身不随となり、介護のためパンという男性が雇われる。エークは当初施設に入っていたが、その後自宅の二階で暮らすようになる。エークは父親とは会話をしないがパンとは次第に打ち解けていく。パンとエークの日常生活を淡々と描いた作品。その中に突如神秘的な映像が挿入され、不思議な感覚をもたらしている。



監督:アノーチャ・スイッチャーゴーンボン
出演:パークブーム・スラボンサヌラック
アーカネイ・チャーカム
2009年/35ミリ/カラー/81分/タイ
日本語・英語字幕付き

※15歳未満の方は鑑賞できません。

20(日) 14:00/23(水) 14:00

恋するリトル・コメディアン

The Little Comedian

13歳の少年トックの父親はお笑い一座の座長だった。父親に認められたいトックは仲間とお笑いの練習をするがなかなかウケない。ある日ニキビの治療で病院に行ったトックは女医のプリヤーに一目ぼれしてしまう。少年トックと家族の心温まる作品だが、レストランなどで公演するタイ独特のお笑い劇団が描かれる事が興味深い。楽しい娯楽作品。



監督:メート・タラートーン
ウィットヤー・トーンユエ
出演:チャイン・リキッドジャーンボン
ポーラ・テイラー
2010年/35ミリ/カラー/128分/タイ
日本語・英語字幕付き



「映画の中の子どもたち」を開催
詳細はシネラニュース7月号をご覧ください。

2水▶6日

7月 休館日

8火 休映日

怪談映画の夜

9水 14:00 東海道四谷怪談 16:30 牡丹燈籠 19:00 東海道四谷怪談

10木 14:00 牡丹燈籠 16:30 東海道四谷怪談 19:00 牡丹燈籠

アニメーション特集

11金祝 11:00 白蛇伝 14:00 おとぎの世界旅行

12土 11:00 龍の子太郎 14:00 白蛇伝

13日 11:00 おとぎの世界旅行 14:00 龍の子太郎

14月 休館日

15火 休映日

16水 11:00 ムアンとリット 14:00 ファン・バー・カラオケ

17木 11:00 運命からの逃走 14:00 ムーンハンター

18金 11:00 メコン・フルムーン・パーティ 14:00 ワン・ナイト・ハズバンド

19土 11:00 早春譜 14:00 10月のソナタ

タイ映画特集

20日 11:00 ありふれた話 14:00 恋するリトル・コメディアン

21月 休館日

22火 休映日

23水 11:00 ありふれた話 14:00 恋するリトル・コメディアン

24木 11:00 10月のソナタ 14:00 早春譜

25金 11:00 運命からの逃走 14:00 ムーンハンター

26土 11:00 ワン・ナイト・ハズバンド 14:00 メコン・フルムーン・パーティ

27日 11:00 ファン・バー・カラオケ 14:00 ムアンとリット

28月 休館日

29火・30水 休映日

31木 休館日

アジア映画収蔵資料コレクション展 タイ映画ポスター集

映像ホール・シネラで開催する
「タイ映画特集」に併せて
ポスター展を開催。



展示期間 平成29年8月2日(水)～8月30日(水) ※月曜休館
展示場所 総合図書館1階 映像ホール前展示ショーケース
観覧料 無料

お知らせ

福岡市総合図書館は、「シーサイドももち花火ファンタジアFUKUOKA」による交通規制等のため、平成29年7月26日(水)は開館時間を午前10時から午後6時までに変更いたします。なお26日の花火大会が27日に順延になった場合は、26日(水)・27日(木)両日とも開館時間は午前10時から午後6時になります。ご不便をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。



福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号
福岡市総合図書館(代表):tel.092-852-0600 fax.092-852-0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>



交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

【市営地下鉄】
西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

【西鉄バス】

- 博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分
- 藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分

◎所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については西鉄お客様センター[TEL.0570-00-1010]に直接お問い合わせください。

第380回プロムナードコンサート

◆◆◆月に一度のお昼休みのクラシックコンサート◆◆◆

日時:2017年8月22日(火) 12:00~13:00 ※入場無料
場所:西日本シティ銀行本店1Fエントランスホール(福岡市博多区博多駅前3-1-1)
曲目:ベートーヴェン作曲 弦楽四重奏曲第9番 八長調 Op.59-3 他
演奏者:福岡ハイドン弦楽四重奏団
主催:西日本シティ銀行/公益財団法人福岡文化財団(TEL.092-473-6777)

